

逍遙館長のところ

「先人たちの思いを語りかける 県史料、の ところ」

2月21日 逍遙^①

皆さん方には中々馴染みが薄いかもかもしれませんが、ここ黎明館では、展示の外に、膨大な幕末維新史料等が多くの方々の研究や教育資料として活用されるよう、既に半世紀以上に亘り「鹿児島県史料」を継続刊行しております。

例えば、前回触れた「西南戦争」についても、県史料「西南戦争 第一巻」の中で、東大史料編纂所所蔵の政府側史料である「鹿児島征討始末」の外、第三者史料としての「東京曙新聞社説」などを収録し、特に後者は、個人的見解の傾向があるなど、今日の新聞社説とはその趣きが異なるものの、当時の一般的な風潮を知る上で貴重な史料の一つとなっています。

参考までに、この社説の中から主に今月2月の論題を中心にいくつかご紹介します。

- ◎ 2月2日「世人何ニヨリ西郷氏ヲ推戴スルヤ」
- ◎ 同13日「私学校徒ヲ暴徒視スルハ早計」
- ◎ 同15日「政府ハ戦報ヲ公表セヨ」
- ◎ 同21日「鹿児島追討令下ル」
- ◎ 9月10日「薩賊平定ヲ疑ハズ」

是非一度この県史料を手にとって、ご自分なりに辿ってみるのもいいのでは。

◎ 次回の予定 「川万博・その裏で、の ところ」

